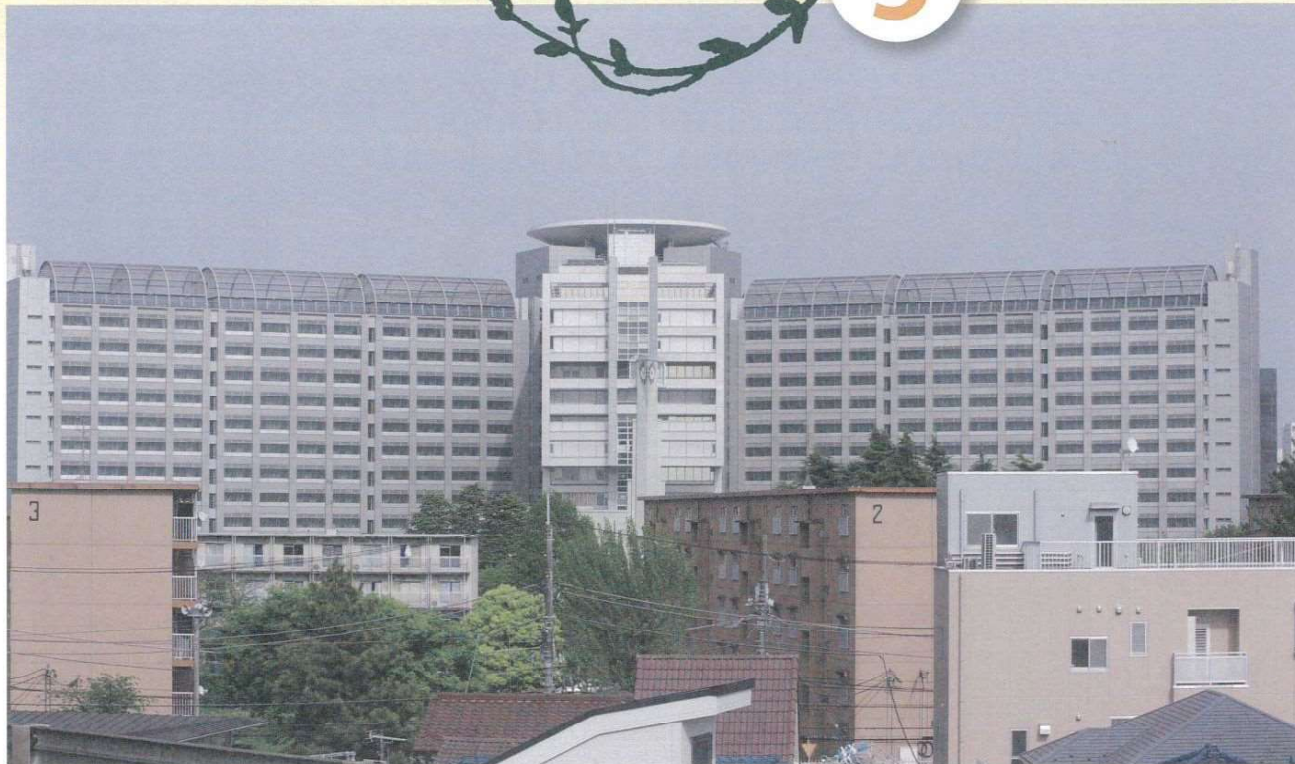


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
 発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
 TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
 発行人 山崎 哲  
 編集長 仲井 真裕  
 印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう  
 願いに生きる人となる



東京拘置所(葛飾区)

## 西徳寺の予定

### 5月

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 7日(日) 正午      | 燈虹塾セミナー                      |
| 13日(土) 午後5時半  | 同行会『勸衆偈』に聞く<br>法話:大谷顧問       |
| 14日(日) 午後2時   | 城南ブロック会総会・間法会<br>場所:大井町きゅりあん |
| 17日(水) 午後1時半  | 婦人会間法会                       |
| 20日(土) 午後2時   | 定例間法会                        |
| 21日(日) 午後2時半  | 城西ブロック会総会・間法会 場所:西徳寺         |
| 27日(土)・28日(日) | 本山慶讃法会 団体参拝旅行                |



### 6月

- |              |                                     |
|--------------|-------------------------------------|
| 1日(木) 午前10時半 | 城東ブロック会散策(柴又方面)                     |
| 7日(水)        | 燈虹塾セミナー(仮)                          |
| 10日(土) 午後5時半 | 同行会『勸衆偈』に聞く 法話:仲井 真裕                |
| 11日(日) 午後2時半 | 城北ブロック会総会・間法会<br>場所:くいもの屋わん池袋西口公園前店 |
| 14日(水) 午後1時半 | 婦人会間法会                              |
| 17日(土) 午後2時  | 定例間法会                               |
| 25日(日) 午後2時半 | 城東ブロック会総会・間法会<br>場所:人形町 香港美食園       |
| 30日(金) 午後2時  | 評議員会定例役員会                           |

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

## 顧問の一言

### 北枕のいわれ

お釈迦様は2月15日に80才の時、サラの木の下で入滅されました。その時のお姿が涅槃図として伝えられています。サラの木に囲まれて「頭北面西右脇」の姿で描かれているところから、死を連想する北枕は避けられることがあります。

しかし医学的には、頭を冷やし足を温める「頭寒足熱」といわれ、磁場の影響からも、北枕は睡眠に適しています。更にインドでは北枕で寝ると悟りが開かれると言われ、修行僧が好んで北枕にしているそうです。





## 5月の山門の言葉

いつでも同じ月を見てたはずなのにさ  
どうしてこうも違うんだろう

田中ヤコブ(フォークバンド・家主)



同じ月でも、見る人によって違った表情を見せる。それは決して月のせいではない。月を見る私達が喜怒哀楽、常にコロナ変化する気持ちを抱えていて、そんな中で月を見れば月はいかようにも変わる。そして月を見る自分を問題にしないのだ、と先人のお言葉から教わっている。

私はお寺で主催している西徳寺混声合唱団「エコー」の一員であるのだが、先日こんなことがあった。指揮を務める先生の合図で、三十人ほどが一斉に発声する、というもののだが、合わない。「一斉に声を出そう、いい演奏にしよう」が、みな共通の願いのはずなのに、合わない。そんな場面に遇ったとき、私にむくむくと起こった感情は、「あの人が悪い、あのパートが悪い」であった。誰かのせいにするのである。

言うまでもなく、合唱とはみんなの息を合わせるものである。しかしながらほんの些細なことで気持ちがバラバラになってしまう。誰かのせいにして、私自身はどうなのかと問わない。

そんな中、今回の言葉(若い人が歌う歌)に出会い、この人も同じ悩みを抱えているのではないかと驚かされた。誰かのせいにして私が問われない。私とは一体どういう身なのだろうか。そんな問題を共に学ぶ場所がお寺である。

(高橋 淳記)

## ランドマーク 東京拘置所(葛飾区)



旧小菅刑務所 管理棟

東京の拘置所は、元は未決囚を収容する市谷刑務所を1937(昭和12)年に巢鴨(現在のサンシャインシティと東池袋中央公園)に移転し、「東京拘置所」と改称したところから始まります。

現在の葛飾区小菅にある東京拘置所は、元は江戸時代に武家屋敷があり、将軍家鷹狩り時の休憩所である小菅御殿となりました。その後、当時の小菅県 県庁となり、1878年(明治11年)囚人に刑務作業として煉瓦製造に従事させる目的で、小菅集治監しゅうちかんが設置されました。小菅監獄を経て1922年(大正11年)、小菅刑務所と改称しました。戦後の紆余曲折を経て、1971(昭和46)年、現在の小菅に東京拘置所が移転されました。今の舎房は2006(平成18)年に完成した、地上12階、地下2階建ての、まるで要塞のような建物です。

収容定員は3010人で、地下には死刑を執行する絞首刑施設があります。



# うばだいしゃ ~ 共悩共歩 ~

## テーマ「時代」

優婆提舎(うばだいしゃ)論議の意。  
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。  
(例:浄土論=無量寿経優婆提舎願生偈)

### 【人に聞かない時代】

今回は長年、西徳寺とお付き合ひのある葬儀社、小林花環店はなわてんの小林年幸様にお話を伺います。

### ◆小林花環店

うちは私で三代目なんですけど、なぜ花環店かというと、昔はお祝いの花環もやっていました。それと葬儀社とか商店って名前になると、差別される時代だったんです。それを嫌って、最初は小林葬具店っていう名前にしたんです。でもお祝いの花とかもやって、葬儀もやって、花環店としよう。初代の祖父が戦前ぐらいに独立して、ずっとこの地で営んでいます。染木さん(染木商店)も古くからやっていらっしやっていますよ。

### ◆葬祭業を継いで

私が今、五十七歳なんですけど、店に入ったのが二十五歳の時です。葬儀屋さんになる前に、自分のやりたいことをやりたいと、二、三年だけ結婚式の仕事をしていました。やっぱり跡を継ぐっていうのに反発があったんです。特に葬儀屋っていうこともあって、じゃあ逆にお祝いの方を経験してみようと。同じサービス業ですから、役に立つかなって思っています。

### ◆町会の葬儀式

元々下町は、お葬式の時は町会の人を取り仕切っていたんです。だからこの地区はこの葬儀屋さんって、町会で決まっていたんです。昔は葬儀屋っていても、白木の祭壇をお飾りして、棺を持って行ってご安置して、その後の式典は町会の方が仕切っていたんです。

その当時は喪主を近しい親族が、施主は町会長さんとか葬儀委員長っていう言い方で、悲しむ人と、取り仕切る人が分かれていたんですよ。

今は人との関り、ご縁を避けるような形になってきましたね。それが鬱陶しいとか、煩わしいと。それを排除して、家族葬とか。特にコロナ禍で人数の制限がかかって、火葬場には十人までしか行けないとか。それを経験された方は、

「じゃあうちもこれでいいんだ」ってなっているんだと思います。

これも時代かもしれないですけど、平均寿命も延びて、同世代の方が来られない。だから私たちだけで送りますって方が増えましたね。

### ◆怪しい業者も…

東京に葬儀社は全部で三五〇社ぐらいあるんです。正確には組合に加盟しているのが一六〇社。あとは組合に入っていない葬儀社が多くありますね。

よくテレビで宣伝しているような、ネット業者には注意した方がいいと思います。ネット業者はただ紹介するだけなんです。人に聞けばいいのに、自分でネットを見て価格比較して選んで、後で追加料金が掛かって痛い目に遭うとか。

うちは地域を重視していますので、仲介業者からの依頼は断っています。こうやって地域でお店をかまえていると、そういう悪いことは出来ません。信頼関係で成り立っているのです。その信頼関係が要らない世の中って、すごく怖いと思います。

(聞き手 仲井真裕)



小林年幸さんと聞き手



染木商店さんもご紹介できます





## 同行会修習式

3月25日(土)午後5時15分より、本堂にて同行会修習式を執り行い、山崎住職から表彰状と記念品の授与がありました。

また、石井会長と山崎住職より挨拶を頂戴し、皆さまと一緒に教えを聞く事が、実は、それぞれの人生を豊にしていくことではないかと改めて感じております。

この1年も共に学んでいきたいと思っております。

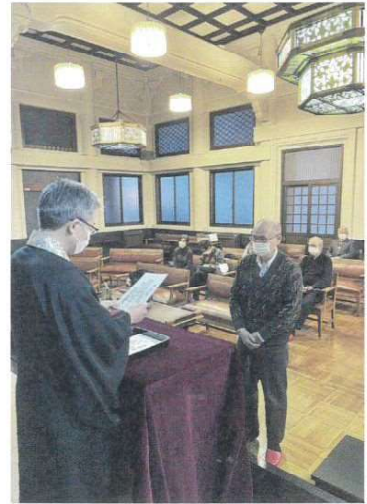
(大橋 伊知郎 記)



石井会長挨拶



住職挨拶



表彰

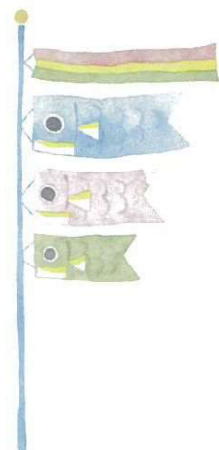
## 城北ブロック会

3月26日(日)、城北ブロック会聞法会を西徳寺にて開催いたしました。あいにくの雨の中、14名のご参加をいただきました。

法話のテーマは「今いるところ」。大谷顧問から「いつ終わってもいい、という今はどこにあるのか。私を成り立たせている無量のいのち、大地に尋ねるしかない」と教えてもらいました。

懇親会では、3月に米寿を迎えられた中条会長のお祝いをサプライズで行い、楽しく賑やかな時間を過ごしました。

次回は6月11日(日)、池袋にある「くいもの屋わん 池袋西口公園前店」での総会・聞法会を予定しております。どうぞお気軽にご参加ください。(担当 仲井 真裕)





## 燈虹塾ハイブリッドセミナー

江戸文化の一つとして花魁道中<sup>おいらんどちゆう</sup>というものがあります。これは現在も毎年4月に開かれる「浅草観音うら一葉桜まつり」の一環として再現されています。今回は当まつり後援でもあり当塾理事を務めます望月太左衛氏より、「江戸の音楽の基本 その3 ～春が来た、花だ桜だ吉原だ!～」と題し、花魁道中を中心にお話を伺いました。

途中からは日比谷塾頭、吉原理事・不破副代表も参加して道中の魅力・見どころについて思う存分語っていただき、望月太左衛社中による演奏、そして最後には西徳寺法務員による「鼓滝<sup>つづみかき</sup>」の朗読と、非常に見ごたえのある時間でありました。

**次回は5月7日**、江戸時代から現在に伝わり続ける細川流投網を見学しに、江戸川船上にてセミナーを行います。今も伝わる文化に触れ、大切な時間となればと念じます。

(事務局 高橋)



「五人囃子」についての説明と実演



望月氏よりお話をいただきました



西徳寺法務員も朗読に挑戦! 仲井編集長の娘さんも!

## うんじゅうがくしゃ 「雲集学舎」第二期開講式

4月7日(金) 西徳寺・梅檀の間にて、雲集学舎第2期開講式が行われました。

雲集学舎は昨年から西徳寺を会所として再出発され、今年度で2期目を迎えられます。雲集学舎は帰命法会でもご法話いただいた、大島義男先生を中心に親鸞聖人の教えを学ぶ場所ですが、宗派を問わず、僧侶もサラリーマンも主婦も、様々な方がお話を聞きに来られます。一度聞いてみたいと思われる方は、西徳寺までお問い合わせ下さい。

なお**5月19日(金)**に、故宗正元師のご命日にちなんだ「雲集忌」を、西徳寺を会所として勤めることになりました。

(大橋 伊知郎 記)



雲集学舎





## 坊さんのツブヤITTER



@ハウシュウ

5月で40歳を迎えるにあたり、ここ最近身体の不調を訴えることが多くなった。帯状疱疹、頭痛、アレルギーによる咳喘息。そういえばあんなに大好きだった脂っこい食べ物も、めっきり箸が進まなくなった。年齢のせいではなく、単純に過去のツケが今になって回ってきただけだろう。今までの暴挙の数々を黙って受け止めてくれた身体に感謝!!

#僕の身体まだまだ頑張ってるね #今年は前厄らしい #でもそんなの関係ねえ!!

## えこお志お礼

江戸川区 形屋 顕弘 様  
 台東区 入倉 晴治 様  
 板橋区 木下 順子 様  
 北区 小山 光子 様  
 港区 安井 均 様  
 文京区 官林 以智子 様  
 世田谷区 塚本 和子 様  
 江戸川区 谷 晋一 様



ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

## 内愚外賢

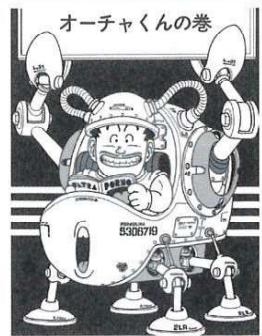
～賢者の信を聞き、  
愚者が心を頭す～

少し前に友人から人工知能(AI)を使ったチャットサービス、「チャットGPT」というものが流行していると教えてもらいました。質問をすればAIが答えてくれるというサービスです。

海外では禁止にした国があるそうです。つまり人に相談する、人に聞くという、人と人の関りが無くなるのが危惧されているからでしょう。人との間という、人間の本来性がなくなるのではないかと思います。

便利さを求め、煩わしさという苦を取り除いてきた人間の進歩発展。昔読んだ「Dr. スランプアラレちゃん」の1コマを思い出しました。乗った者の思い通りに、何でもしてくれる「オーチャくん」という機械の話です。最後は名前の由来の通り、乗った人が横着になり、丸々と太ってしまうという話です。

私が生まれてきた意義をAIに聞くのでしょうか…。不便には戻れない怖さもあります。今をどう生きるかが問われているように感じます。



オーチャくんの巻

オーチャくん

(編集長 仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)  
 🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。